

**「チーム西蒲」～組織力の安定による揺るぎない学校運営～**

学校組織を盤石なものにすることで、本来の教育実践の成果を最大限に発揮できると共に、多様な対応事案にも落ち着いて的確に向き合えます。その基礎的な要因が、情報の流れです。「報告・連絡・相談」さらに「確認」を徹底します。全教職員が、組織の一員としての意識を強くもって、「チーム西蒲」を作っていきます。

「変化は進歩、踏襲は後退」～充実のための改革～

常に、なぜ、何のためという目的や意義を考え、教育活動を見直したり、新規に提案したりすることを大切にしていきます。条件が揃えば、変えることも止めることも躊躇なく実施します。教職員一人一人が改革者です。常に進歩する学校を目指します。

「凡事徹底」～当たり前を確実に～

日々の学校運営や教育実践は、地道でていねいに行わなければなりません。当たり前を確実にとは、人間として、社会人としての良識、職業人としての良識、そしてそれぞれの専門職としての良識にしたがって行動するということです。

【重点項目】**1 生徒の教育的ニーズや進路希望の把握と自立を育む教育実践の充実を図ります。**

- 生徒一人一人の実態、将来への希望や適性をていねいな見取りと客観的指標により把握します。
- 個別の指導計画に基づき、生徒一人一人の自立へ向けた指導・支援を継続して生徒の変容を把握、指導と評価の一体化による教育実践の充実を目指します。

2 社会参加する力を育む機会の設定と進路実現のための指導・支援の充実を図ります。

- 生徒一人一人が社会人となるための基礎的な知識・技能を身に付けられるよう、常に教育課程、教育内容の改善を意識して教育実践を進めます。
- 生徒一人一人が社会性を身に付けられるよう、社会資源を有効活用するなど、指導内容を精選して教育活動の機会と場を工夫していきます。

3 安全・安心を保障する学校づくりを進めます。

- いじめや問題行動も、未然防止に勝るものではありません。啓発、涵養の視点で全教育活動を通して、道徳教育、人権教育を進めると共に、生徒指導提要に則った発達支持的・課題予防的生徒指導を推進します。
- 社会の動向や生徒の状況に基づいて、防災、感染症予防対策、アレルギー対応等の保健安全面、施設管理等の環境安全面の見直しと充実を目指します。

4 保護者、関係機関、地域との連携、協働による教育活動の充実を図ります。

- 家庭と学校とは車の両輪、保護者と教職員が同じ方向を向いて、生徒の成長を育むための連携体制づくりと維持に努めます。
- 生徒の教育の充実と安定を図れるよう、各種関係機関や地域との連携を強化します。

5 教職員の専門性の維持・向上とセンター的機能の発揮を図ります。

- OJTを通して専門性の継承を図るとともに、今日的課題に向き合える専門性の発展を目指した、効率的で実効性のある校内研修を推進していきます。
- 特別支援教育のセンターとしての力を発揮できるよう、校外に対する積極的な発信、支援活動を推進します。